令和２年度　かほく市立大海小学校　学校評価　（前期結果）　R2.10.8

重点目標		具体的取組	担当	現状	指標	評価の観点	達成度判断基準（A＋Bの割合で判定）	判定基準	備考 実施時期・対象	児童の評価	保護者の評価	地域の方の評価	教員の評価	達成度判断	改善策	学校関係者評価者による意見
確かな学力の育成と小中連携の充実	①	★国語科・算数科の基礎学力の向上を図る	学習指導部	評価テストにおいては良好であるが，個人差があり，支援が必要な児童がどの学年にもいる。	成果	漢字テストで８割以上できる 計算テストで８割以上できる	漢字・計算の評価プリントで８０％以上できる児童が８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	毎学期末（児童）	漢字テスト 90% 計算テスト 89%				B	・漢字・計算共に数値は上がってきている。休み明けの確認テストでは漢字95%，計算97%とさらに良好な結果となった。今後も朝学習や昼帯タイム（PT）や家庭学習などで反復練習を行わせ，確実な定着につなげる。	・コロナ感染症対策で，年度当初は休校になり，児童の様子が心配だった。また，様々な行事がなくなり，子ども達のモチベーションも下がると思うが，大海小ではできる限りのことをしていくとのことなので，今後も協力していきたい。
	②	★家庭学習の習慣づけを図る（10分×学年）		家庭学習への意識づけはしてきたが，主体的・習慣化という面では十分とは言えない。	成果	学年に応じた家庭学習の仕方が定着し，進んで取り組んでいる	10分×学年の時間をクリアした割合が９０％以上	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	6月から毎月 がんばりカード 7月，12月	がんばりカード 98%				B	・家庭学習の実施状況を挙手で確認したり課題に記入させたりする。また，計画的に進めるとはどういうことかを具体的に指導し，家庭学習の状況を学級便りなどで保護者に伝えていく。	
							児童・保護者アンケート「自分で計画を立てている」で80%以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:６０％以上８０％未満 D:６０％未満	児童・保護者アンケート	89%	78%			B		
	③	★アクティブラーニングを取り入れる等，一人一人が分かる授業となるよう工夫と改善に努める		自分の考えがもてなかったり，主体的に学び合えなかったりする児童がいる。教員主導で，主体的な学びとなっていないことがある。分かる授業づくりに向け，研究の重点をもとに共通理解を図り，共通実践となるよう取り組んでいる。	努力	児童の弱点克服のため，研究の重点目標をもとに，授業改善を図っている	教職員のアンケートで９０％以上	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（教職員）				100%	A	・実生活に関連付けた単元計画を立て，具体物や写真・動画などの実物資料を活用するなど，学習活動の工夫に努める。	
					満足	児童の理解度や分かる授業への手立てが児童や保護者に実感できている	児童・保護者アンケート「学習内容が分かっている」で８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童・保護者）	国語 94% 算数 88%	国語 94% 算数 89%			B	・担任と英語アシスタントが一緒に活動に入り，話せた・伝わったという経験を児童に積ませていく。	
	④	小中連携の推進を図る		児童・生徒の交流事業，教職員の研修の推進を図る必要がある。	成果	校区内小中連携を意識した取組を学期に１回以上行う	交流事業や教職員の研修の回数が８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	毎学期（教職員）						・土日の家庭読書を習慣づけるよう，金曜日には必ず本を借りるよう声掛けをする。	
	⑤	★英語活動の充実を図る		英語アシスタントと連携し英語に親しむ活動をしているが，さらにその充実を図る必要がある。	努力	英語活動に興味関心をもち，楽しい授業になるよう創意・工夫をしている	児童アンケートで８０％以上 教職員アンケートは９０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童・教職員）	88%			100%	B		
	⑥	読書に親しむ習慣化を図る		毎月２３日前後に親子読書の日を設定しているが，学年によって差がある。	成果	全校朝読書を設定し，学年に応じた図書に親しませ，読書目標（各学年の設定）の達成を５０％以上にする	年間　次の数値以上 低：200冊 3年：5000P　4年：7000P 5年：9000P　6年：10000P	A:８０％以上 B:５０％以上８０％未満 C:３０％以上５０％未満 D:３０％未満	7月，12月（児童）	92%				A		
学校組織力の強化	⑦	学力向上に向けロードマップをもとに組織的に取り組む	教務部・学校コーディネーター	計画をもとに各リーダーが中心となって改善しながら推進している。	努力	一人一人が参画意識をもって学力向上に向けて自分の役割を遂行している	教職員アンケートの実施で９０％	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（教職員）				100%	A	・学力向上に向けた取組が共通実践となるように，授業チェックシートを活用し，OJT研修の充実を図る。	・トンネルアートの取組や運動会では，児童が生き生きと活躍する姿を見ることができた。
	⑧	地域素材をいかした学習に積極的に取り組む		学校コーディネーターを活用し，地域の人材や素材を取り入れた授業が定着し，児童の関心意欲も高まってきた。地域の人材や素材を生かした学習を円滑に行っていくためにも，連絡調整や新たな地域人材を探すことが必要となってきている。	努力	総合的な学習や生活科等で地域の素材や人材をいかした授業を行っている	教職員アンケートの実施で９０％	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（教職員）				100%	A		
					成果	総合的な学習や生活科等で地域の学習に楽しく取り組んでいる	児童アンケートの実施で８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童）	96%				A	・コロナ感染対応に十分配慮しながら，今後も地域の人材や素材の活用場面を考えていく。	・勤務時間の削減が進んでいて，安心した。さらに継続していってほしい。
	⑨	家庭・地域との協働による学校運営協議会の充実を図る		学校運営協議会の運営をより一層充実させる必要がある。	満足	家庭や地域との連携に腐し，積極的に学校コーディネーターや学校運営協議会を活用している	教職員アンケートで８０％ 委員アンケートの実施で８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（教職員・委員）			100%	100%	A	・業務内容・役割分担の見直し，教材の共有化などを行い，業務の軽減化を図っていく。	
	⑩	★業務内容の改善に努め，時間外勤務の削減に努める		時間外勤務の改善意識は高まってきたが，休日出勤も多い。	努力	県全体で行っている勤務時間調査における勤務時間が昨年度を下回る	勤務時間調査	A：－１０％以上達成 B：－９％未満昨年度より削減 C：昨年同様 D：昨年比＋	7月，12月（教職員）				-9.8%	B		
いじめ・不登校や問題行動の防止と特別支援教育・心の教育の充実	⑪	★あいさつを通して他者との関わりを持たせる	生徒指導部	学校であいさつは元気にできるようになっているが，地域であいさつが定着していない。	成果	家庭や地域であいさつする習慣が身についている	三者のアンケートの評価の割合が８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（保護者・児童・地域）	98%	98%	100%		A	・「誰に対しても」を重点とし，今後も児童会や登校班ごとの挨拶運動を継続していく。	・「毎日学校に行くのが楽しい」と答えた児童の割合が前回よりも減ったこと，中学年で「自分によいところがある」のA評価がやや低いことが気になる。良い姿を褒めるなどして，自信をもたせるようにしてほしい。
					成果	学校内でお客さんに出会ったときにあいさつができる	児童・教職員アンケートの結果が９０％	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（児童・教職員）	95%			100%	B		
	⑫	★いじめ・不登校など問題行動の未然防止に努める		いじめや不登校の事案は少ない。小さなトラブルについても，早期対応している。今年度もスクールカウンセラーを活用していく。	努力	問題行動が起きる前に，積極的に関わり，生徒指導主事を中心としたチーム対応で家庭との連携を図り，問題解決できるようにしている	教職員アンケートの結果が９０％以上	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（教職員）				100%	A	・いじめアンケートの時だけでなく，日頃の些細なトラブルであっても学校の対応や指導を確実に保護者に伝え，協力関係を築く。	
					成果		S：「いじめはどんな理由があってもいけないと思う」「いじめをしていない」が９０％	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（児童・保護者）	100%				A		
					成果		P：「学校のいじめの未然防止や早期発見の取組が伝わってくる」が８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満			87%			B	・いじめが疑われる時には，速やかに情報収集を行い，組織的に対応していく。	
	⑬	★特別支援教育の推進に努める		周りとうまくコミュニケーションを取ることが難しく，友達とトラブルを起こす児童がいる。	努力	特別支援コーディネーター及び校内支援体制を活用しながら，一人一人が自己有用感を感じ，認め合える学級づくりに努めている	教職員アンケートの結果が９０％	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（教職員）				90%	B	・お便りやホームページ等でいじめに関することを保護者に発信していく。	
					成果		S：「自分にはよいところがある」が８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童）	91%				A		
	⑭	豊かな心を育む道徳教育の充実を図る		道徳的判断力・実践力の弱い児童がいる。	努力	GTや地域の素材を生かした道徳教育を行うとともに，道徳的な判断力・実践力を高めるようにする	S：「道徳の授業で価値項目について考えている」が８０％以上 T:道徳の授業を年１回以上公開し，道徳便りや学年便りで保護者に取組を啓発するが１００％ 　また、年間１回以上ＧＴを活用した授業を行う	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童・教職員）	93%			100%	A	・注意や指導ばかりでなく，個に応じた適切な褒め方を実践していく。	・自分達の学校を掃除することはとても意義のある活動である。児童の負担になりすぎないように行っていってほしい。掃除の仕方など家庭でも身に付けるべき事柄について，学校に全て任せるのではなく，家庭でも指導していけるとよい。
					成果			A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満			98%			B	・自己有用感の低い児童を把握し，学校全体で成長や良さを見取り，本人に伝えていく。	
	⑮	異学年活動を推進し，活力ある学校づくりをする	特別活動部	異学年活動が遂行されており，高学年としてのリーダー性を高め，異学年のグループをまとめる力の伸長に努めている。	満足		アンケートの結果が，児童が８０％以上・教職員が９０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童・教職員）	97%			100%	A	・ボランティア活動について積極的に指導を行いながら，児童が活動の有用感や自己肯定感を高める機会を設定する。	
					成果	学級活動や学校行事などに楽しんで企画したり参加したりしている	S：「毎日学校に行くのが楽しい」が９０％	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満	7月，12月（児童・保護者）	87%				C	・企画運営委員会が中心となってちょこボラを開催したり，教師が意図的に児童の活躍できる場を設定したりしていく。	
							P：「子どもは学校に行くのが楽しい」が９０％以上	A:１００％ B:９０％以上１００％未満 C:８０％以上９０％未満 D:８０％未満			94%				
					満足	進んで人の役に立つことをしようとしている	児童アンケートで８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童）	96%				A		
生活習慣の定着と運動能力の向上	⑯	★家庭と連携し，生活習慣の定着を図る	保健安全部	朝ご飯の意識は高まってきた。その他の健康管理への意識については，家庭によって差がある。	成果	身の回りの清潔に自分で気をつけ取り組んでいる	毎週水曜日の清潔検査で８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	毎週水曜日（児童）	99%				A	・はっぴ～貯金の期間以外でも「早寝」を実施できるように声掛けをしていく。	・コロナ感染症への対応をしながらの学校生活であるが，これからも家庭と連携しながら児童の様子を見守っていってほしい。
					成果	衰に関する指導計画をもとに，養護教諭等と連携して食育の授業や活動を推進していく。	児童・保護者アンケート「朝食を毎日食べている」が８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	7月，12月（児童・保護者）	99%	99%			A		
					成果	「早寝・早起き・朝ご飯」を意識して生活できる	学校独自の「はっぴ～貯金」の調査で就寝時刻を守ることが5日間のうち4日以上できたが８０％以上	A:９０％以上 B:８０％以上９０％未満 C:７０％以上８０％未満 D:７０％未満	毎月第2週（児童・保護者）	朝食 93% 早寝 94%	朝食 99% 早寝早起き 80%			A B	・学校保健委員会を「メディアと睡眠」に関するテーマで行う。	
	⑰	★児童の体力・運動能力の向上を目指す	特別活動部	体力テストの結果は良好ではあるが，一部運動能力が県平均と比べて劣っている種目がある。	努力	各学年で決められたスポチャレの内容や目標値に向かって取り組んでいる	学期毎にスポチャレ記録回数の更新数を各学年２回以上にする	A:１２回以上 B:１０回 C:８回 D:６回	毎学期				0回 更新		・スポチャレはコロナ感染症対策で実施困難のため，体力向上に有効な活動を工夫し発信していく。	

★市の重点項目　　S:児童　P:保護者　T:教職員